

豊中市生活保護システム標準化移行対応業務における 公募型プロポーザル方式による受託候補者の選定結果について

「豊中市生活保護システム標準化移行対応業務」における受託候補者の公募を行った結果、1 団体から応募があり、「豊中市生活保護システム標準化移行対応業務受託候補者の選定に係る審査委員会」での審査結果を踏まえ、以下のとおり受託候補者の選定を行いました。

今後、受託候補者と契約交渉を行った上で、随意契約の相手方とします。

1 件 名

豊中市生活保護システム標準化移行対応業務委託

2 履行期間

契約開始日から令和 10 年(2028 年) 1 月 31 日まで

3 受託候補者

事業者名	富士通 Japan 株式会社 関西・中部公共ビジネス統括部（関西）
所在地	大阪市北区大深町 5-54
代表者	統括部長 北條 憲司
提案金額	82,737,600 円

4 公募及び審査経過

(1) 公募経過

令和 8 年(2026 年)

①実施要領等の公表；4 月 27 日から

②質問受付；5 月 15 日まで

③提案書類提出期限；6 月 16 日

(2) 応募団体

「豊中市生活保護システム標準化移行対応業務に係る公募型プロポーザル実施要領」に基づき、1 団体から提案書類の提出がありました。

【応募団体（50 音順）】

富士通 Japan 株式会社 関西・中部公共ビジネス統括部（関西）

(3) 審査経過

令和 8 年(2026 年) 4 月 22 日 第 1 回選定委員会

令和 8 年(2026 年) 7 月 2 日 第 2 回選定委員会（二次審査（プレゼンテーション））

なお、一次審査（書面）は応募事業者が 4 者未満のため実施しませんでした。

(4) 選定委員会の構成

※敬称略、順不同

委員名	役職等
◎ 甲斐 智典	福祉部 地域共生課長
橘 昭博	都市経営部 デジタル戦略課長
荒木田敬亮	福祉部 福祉事務所長

◎は委員長

5 選定理由

豊中市の生活保護システムの現行ベンダであり、システムの状況を良く熟知していること、また中核市以上でのシステム標準化に係る業務実績が多数あることから、業務の確実な実施が見込まれる点を高く評価しました。本業務で求められる「安全で確実な標準準拠システムへの移行」の役割を理解した上で、プロジェクト管理やデータ移行、各種テストや操作研修に係る取組みなど具体的で実現可能性の高い提案がなされていることから、受託候補者としてふさわしいと判断しました。

6 採点結果【総得点 3,000 点満点】

	A	B	C
採点結果	749/1,000 点	693/1,000 点	643/1,000 点

総得点
2,085/3,000 点

*採点は評価点数の合計による総合評価により確定

7 担当課

福祉部 福祉事務所